

芦別観光ホスピタリティ協議会に北海道知事感謝状贈られる



芦別観光ホスピタリティ協議会が、北海道の「観光ホスピタリティ実践者」に選ばれ、10月1日、市長室で北海道知事感謝状が伝達されました。

同協議会は1989(平成元)年に設立された「芦別観光ホスピタリティモデル地区協議会」を前身として1994(平成6)年に発足。毎年7、8月の週末に

は、道の駅スタープラザ芦別の観光案内所で会員が交代でガイドを務めるなど、本市を訪れる観光客に笑顔で対応、芦別観光の活性化に貢献しています。

伝達式には、佐藤孝会長と会員の桜庭隆子さん、神野一民さんが出席し、金田幸一空知総合振興局長から感謝状を受け取りました。

「食卓は楽しく、健康的に」。荒井三津子さんを講師に食育講演会

芦別市食育講演会が10月9日、総合福祉センターで開催され、生活美学研究家で北海道文教大学客員教授などを務める荒井三津子さんが、「食卓は楽しい！」をテーマに講演しました。

荒井さんは、「なぜヒトは食べるのか」という素朴な疑問から掘り起こし、野菜など食材の色の組み合わせや料理の盛り付け、マナーなど、どれも文化

的な意味合いがあることを分かりやすく解説。

「おいしく、栄養バランスも考えて、一人で食べるより家族や友人とにぎやかに、楽しく食卓を囲めば、健康で潤いのある生活ができますよね」と、時折ユーモアも交えながら軽妙に語りかけ、集まった約150人の市民の皆さんは真剣に聞き入っていました。



「星槎祭」が開かれ、会場いっぱい笑顔が広がる



10月11日、星槎国際高等学校の学校祭「星槎祭」が、本部校体育館を会場に開催されました。

16回目となった今年のテーマは、「Smile Festival ～あふれる笑顔をあなたに～」。開会式では、生徒会長の庄司和弘さん(3年生)が、「会場を笑顔で満たし、いつもお世話になっている皆さんに感謝

したいと思います」と述べました。

会場では、焼きそばやケーキなどの模擬店、PTAによるフリーマーケットなどが並び、にぎわいを見せたほか、アフリカをテーマにした研究展示も行われました。また、ステージでは生徒の軽音楽演奏、ビンゴゲーム大会が行われるなど、終日にぎわっていました。

ランタン作りや仮装大会、ジャンボかぼちゃ祭りで秋の一日楽しむ

芦別市国際交流協会主催の第23回国際友好ジャンボかぼちゃ祭りが10月11日、市役所前のもとまち公園で開催されました。

会場内には、重さ400キ。を超える巨大なかぼちゃが展示され、訪れる人の目を引いたほか、オレンジ色のカボチャをくり抜いての「かぼちゃランタン作り」が子ども

たちに大人気。家族の手を借りながらユニークな顔のかぼちゃランタンを楽しそうに仕上げている様子が見られました。

また、ボウリングゲームのほか、魔女やお化けの格好をしての仮装パレードなど、子どもたちなど参加した皆さんが秋の一日を楽しんでいました。

